

3

家庭における学習習慣の確立のために

(1) 学ぶ意欲を育てる

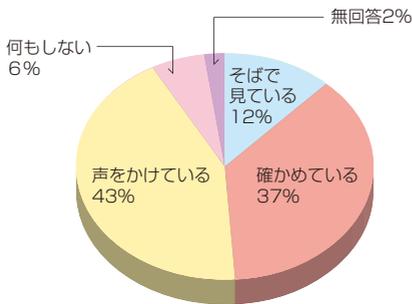
- ★目標に向かって努力する大切さを伝えましょう。
- ★家庭学習の予定を立てて、計画的な学習をさせましょう。
- ★毎日、机に向かう習慣をつけさせましょう。

子どもは、好奇心のかたまりです。「なぜ?」、「どうして?」という思いを保護者が大切に受け止めていくことで、いろいろなことに興味を持つ子どもに育ちます。子どもが「見たい」、「行ってみたい」、「やってみたい」とときには、可能な限り挑戦させましょう。体験によって関心が深まり、学ぶ意欲が高まります。

学びの原点は、自然や社会の事象への興味・関心です。それが学ぶ意欲を喚起し、学習の楽しさに気づかせます。家庭でもできるだけさまざまな機会を与えていくことが大切です。

また、子どもの家庭学習について、保護者が関わっていくことは、学習意欲を高め、家庭学習の習慣化のためにも大切です。

図19 「子どもの家庭学習にどのように関わっているか」



保護者は声をかけたり、確かめをしたりという関わりをしています。

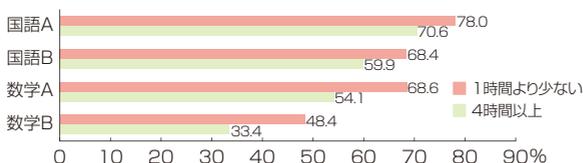
平成22年10月実施福島県家庭教育調査[保護者アンケート]

(2) 学習習慣を身に付けさせるには

- ★メディア漬けやケータイ依存になっている子どもたちは、生活時間の見直しから始めてはどうでしょうか。脳が新しい知識を最も吸収できる発達の時期に、大切な時間をメディアやケータイに奪われていることに気づかせましょう。
- ★子どもの宿題や家庭での学習状況を見守り、ほめて励ますことで家庭での学習が習慣化するように関わりましょう。

学校に入学したら、学力向上のためには、学習習慣、生活習慣を確立し、家庭学習を充実させることが大切です。学習習慣及び生活習慣は、確かな学力の基盤となります。

図20 「テレビ、ビデオ・DVDの視聴時間」と「学力調査正答率」との関係(中学3年生)



平成22年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

テレビ、ビデオ・DVDの視聴時間が短いほど、学力テストの正答率が高いという結果が出ています。

学力を高めるためには、家庭において、自分で計画を立てて毎日学習することが大切です。

図21 「自分で計画を立てて勉強しているか」と「学力調査正答率」との関係
小学校(福島県・公立)



平成22年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

自分で計画を立てて学習している子どもの学力テストの正答率が高くなっています。